

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	光干渉断層血管撮影を用いた網膜疾患の形態学的評価		
1. 研究の目的と方法	光干渉断層血管撮影は造影剤を使わずに網膜の血流を層別に描出することが可能です。通常の眼科診療で行われている検査であり、短時間で多くの情報を非侵襲で得ることができます。加療前後の光干渉断層血管撮影の画像を用いて、画像の変形度合いから網膜の変形度合いを計算します。網膜の変形度合いと、視力や歪視などの視機能の関連性を解析します。導かれた結果から、加療前に、加療後の視機能予測をすることが客観的に可能になるかもしれません。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年7月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	対象となる方：黄斑前膜・黄斑円孔・裂孔原性網膜剥離・嚢胞様黄斑浮腫の患者さんで、柏病院で2018年7月～2026年1月の間に光干渉断層血管撮影を受けた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、性別、検査結果(矯正視力・歪視の程度)、光干渉断層血管撮影画像	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 眼科学講座
		氏名	堀口 浩史
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2024年1月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 眼科学講座 研究責任者：講師 堀口 浩史（ほりぐち ひろし） 電話番号：04-7164-1111（内線3581） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。